



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

小田原市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

Think MIRAI

小田原から未来を考える



はじめに

Think MIRAI

小田原から未来を考える

小田原市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



【キービジュアルに込められた思い】

SDGs未来都市小田原の取組の認知を通じて、世界(未来)について考える(アクションする)ために作成したキービジュアルです。未来への思いが幾重にも重なっている状況をイメージしています。

小田原市におけるSDGs推進の考え方は、市総合計画「おだわらTRYプラン」に掲げる「持続可能な地域社会の実現」と同義です。特に「人の力」に着目した「おだわら市民学校」を中心とする担い手育成により、経済・社会・環境分野の課題解決を促進することが大事です。本書をとおして小田原市における公民の取組がSDGsを通じてつながっていく気づきになることを願います。

小田原市長

加藤 憲一

おだわらSDGs実行委員会は、SDGsの普及啓発活動を展開する民間主体の組織として、2019年10月に発足しました。実行委員会では、初年度の重点テーマとして、SDGsを「知る」に決めました。本書をとおして、SDGsに取り組む企業・団体等を知っていただき、そして、読者の皆様がSDGsの17のゴールへ向かい、活動するためのきっかけとなれば幸いです。

おだわらSDGs実行委員会
会長

原 正樹



はじめに 加藤憲一 小田原市長 原正樹 おだわらSDGs実行委員会会長	2
SDGsって何?	4
SDGs未来都市 小田原	5
高校生が見学しました!SDGsを実践する5つの企業・団体	6
①「創作の喜び通じて 自立を支援」…就労継続支援B型事業所 アール・ド・ヴィーヴル	7
②「スムーズな交通利用で地域の活性化を」…㈱小田原機器	8
③「食を通じて社会に貢献」…㈱JSフードシステム	9
④「変化を受け入れ 進化させていく」…㈱せりざわたけし工務店	10
⑤「LEDが照らすクリーンな未来」…三菱ケミカルハイテクニカ㈱小田原テクセンター	11
おだわらSDGsパートナーの取組	
・「女性の自立を支援 平等な社会実現へ」小田原短期大学	12
・「SDGsの達成を目指す企業をサポート」柏原総合環境会計事務所	13
・「ダイバーシティ雇用が生む助け合い精神」㈱川田製作所	
・「金融を通じた環境保全」さがみ信用金庫	14
・「高齢者の生活を見守る」(社福)小田原福祉会 高齢者総合福祉施設 潤生園	
・「エネルギーの地産地消へ」湘南電力㈱・「豊かな森を次の世代に」竹広林業㈱	15
・「ママの力で暮らしを豊かに」NPO法人 チルドリン 小田原	16
・「EVで被災地に電力を ごみ分別の徹底も」東京電力 パワーグリッド㈱小田原支社	
・「『心』と『身体』の休養を啓発 元気な社会へ」(一社)日本リカバリー協会	17
・「有機農法で省エネもめざす」はなまる農園	
・「音声メッセージロボットで子どものコミュニケーションをサポート」Hamee㈱	18
・「グリーンエネルギーを供給」㈱古川	
・「尊徳の教えで農業支援」報徳仕法㈱・㈱報徳会館	19
・「地域経済の成長をサポート」横浜銀行 小田原支店	
人のチカラを育む おだわら市民学校 ①おだわら市民学校とは	20
〃 ②おだわら市民学校の仕組み	21
〃 ③こんな活動をしました	22
おだわらSDGsパートナー 一覧	23



エス ディー ジー ス

SDGsって何？

国連に加盟する193のすべての国が賛同して採択された、世界共通の開発目標です。「誰一人取り残さない持続可能な社会」の実現のため17の目標を定め、2030年までの達成を目指しています。

SDGs:Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標の略)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「SDGsは国連が決めたことで、壮大すぎてわからない」と思いませんか？

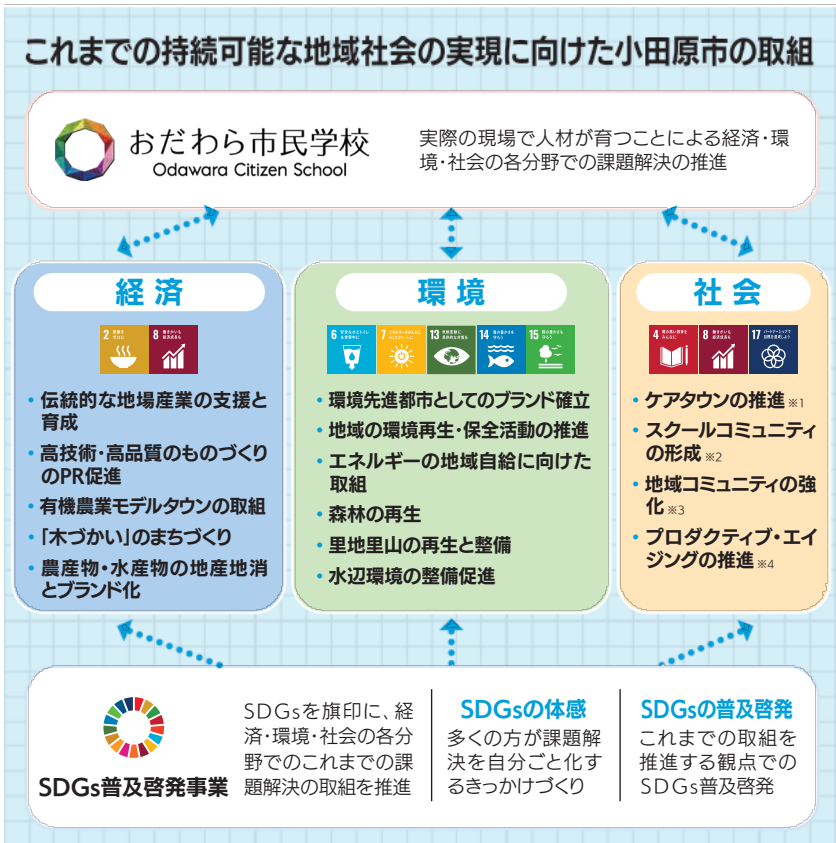
そんなことはありません。ごみを分別する、地域のお祭りに参加する、木を植える…すでに皆さんが実践していることもSDGsのひとつです。私たちの日々の行動の積み重ねが、世界を変える大きな力につながっています。さあ、一緒に行動しましょう！



SDGs未来都市、 自治体SDGsモデルに選定!

小田原市は、これまでの取組と未来への道筋が評価され、2019年7月に国の「SDGs未来都市」(全国で31都市)とそのうち10都市の「自治体SDGsモデル事業」に選定されました。

小田原市ではSDGsの推進に向けて、未来を担う皆さんを含む「人材の育成」を重視しています。身の回りの課題解決に取り組む現場での「学び」と「交流」をとおして、様々な課題の解決に向かうとともに地域経済の活性化を目指します。



※1 手助けし合う地域の仕組み
 ※2 地域で子どもを見守り育てる考え
 ※3 地域力で課題を解決する組織
 ※4 シニアが持っている知見などを生かして地域課題を解決する仕組み

高校生が見学しました

小田原への地元愛が
あふれている会社

小田原機器



アール・ド・ヴィーザル

工場廃水の処理水で
鯉を育てている?!



三菱ケミカルハイテクニカ
小田原テクノセンター



せりざわたけし工務店

生きていく力をつけら
れるようにサポート



JSフードシステム



参加校

- ・県立小田原高校
- ・県立西湘高校
- ・日本大学三島高校



- ・加藤礼華さん
- ・佐藤萌々花さん
- ・鈴木淳夏さん

創作の喜び通じて 自立を支援 アール・ド・ヴィーヴル



障がいのある人に創作や表現の場を提供し、アート活動を中心とした社会的な自立支援を行っている就労継続支援B型事業所「アール・ド・ヴィーヴル」。施設で利用者が制作した絵画や立体アート、織物などを、オフィスや商業施設、公共施設等にリースしています。小田原市との関連事業では、ラグビー豪州代表ワラビーズの応援Tシャツのデザインや横断幕ペイント企画などを手掛けました。2016年に施設を立ち上げた萩原美由紀所長は、「大切なのは心のバリアフリー」、「一度切りの人生だから楽しんでほしい。障がいのある人たちが自分らしく働ける場を、これからも持続させていきたい」と思いを語ります。

高校生の声

「障がい者支援の現場を学びたい」と施設を見学した3人。「すごく上手ですね」「どうやって作っているんですか」などコミュニケーションをとっていました。

自分の思いのまま描ける環境を作っているスタッフが素晴らしい、生きていく力をつけられるようサポートしていることがすごい。

こんなに自由で、障がいのある人を守ってくれるところがあるんだと驚きました。



事業所データ：就労継続支援B型事業所 アール・ド・ヴィーヴル

総従業員数：約10人

所在地：小田原市久野906アネシスヒルズ102

問い合わせ：☎0465・25・4534

- ・新井田海斗さん
- ・小松柊斗さん
- ・久松陸さん
- ・山口和樹さん

スムーズな交通利用で地域の活性化を 小田原機器



バスや鉄道の運賃収受機器やシステムの開発・製造を手掛ける小田原機器。地域経済の活性化を目指してよりスムーズな交通利用の実現への取り組みを続け、全国の路線バス約6万台のうち約4割に同社製の運賃箱が使われています。近年はキャッシュレス化の進展やインバウンド観光客のニーズなど社会の変化を踏まえ、QRコード決済を用いた新製品の実証実験も進めています。

SDGsでは特に「働きがい・経済成長」分野に力を入れています。丸山明義社長は「前身も含め当社は今年で創業70年。社会の持続的な発展のため、これからも成長し続けていきたい」と熱い思いを語りました。

高校生の声

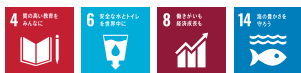
製品開発の歴史を聞いたり3Dプリンターによる硬貨選別レールの製作を見学したり、企業について学びました。

生体認証を使った決済方法など、未来の交通システムも学べました。

製品を作って売っただけでなく、社員同士の連携を大切にしていることが印象に残りました。



企業データ：株式会社小田原機器
グループ総従業員数：約200人
所在地：小田原市中町1-11-3
問い合わせ：☎0465・23・0121



小田原高校
・安藤末菜美さん

食を通じて社会に貢献

JSフードシステム



経営理念は「食を通じて、すべての人の幸せに貢献する」。新鮮な海産物など地域資源を生かした飲食店を多数運営しながら、SDGsの達成に向けた様々な取り組みにも力を入れています。

代表取締役・田川順也さんは「次世代に小田原の良さを残していきたい」と笑顔で語ります。運営する全店舗で、海の環境に配慮して紙ストローを導入。また、自社水産工場でのベトナム人技能実習生の雇い入れ、旭丘高校相撲部の学生たちへの食事提供を通じたスポーツ振興活動も実践しています。「SDGsという目標があると、達成に向けて活動しやすくなる。使命感を持って社会に貢献し続けたい」と力強く語りました。

高校生の声

放送部員の安藤さん。「SDGsをテーマにした映像作品を制作したい」と、ビデオカメラで撮影しながら、説明に熱心に耳を傾けていました。

様々な取組から、地域貢献への思いとともに、小田原への地元愛あふれる人が作った会社なんだと感じました。



企業データ：株式会社JSフードシステム
総従業員数：約170人（アルバイト含む）
所在地：小田原市入生田165
問い合わせ：☎0465・23・5637



小田原高校

・安藤末菜美さん
・市川瑞樹さん

変化を受け入れ 進化させていく せりざわたけし工務店



大工の伝統技法を受け継ぐ棟梁の芹澤毅さんは、小田原城天守閣の「平成の大改修」をはじめ多くの社寺・数寄屋工事などを手掛けています。仕事ではヒノキ、スギなど地域の材をできるだけ使いながら、山林の有効活用にも心を配ります。

「大工は、千年以上昔に造られた木造建築でも、腐った箇所を切り新たな木をつなぎ合わせながら現代に持続させてきた」と職人の仕事を解説し、「環境の変化を受け入れながら技術を進化させていくことが大切」といいます。家を建てる仕事は古いものを大切にすること、その根源は先人たちが伝えてきた技であるといい「その軸を大切に次の世代へつなげていくことが私たちの役目」と伝統継承への思いを語ります。

高校生の声

放送部としてSDGsをテーマに映像作品制作に取り組む2人。工房で棟梁をインタビューしました。

芹澤さんは、お城の修復にかかっているのでお話に説得力がありました。

(体験させてもらった)鉤掛^{かんな}けは想像以上に難しかったけれど、うまくできると気持ちよかったです。



企業データ：株式会社せりざわたけし工務店

総従業員数：4人

所在地：小田原市久野1634-8

問い合わせ：☎0465・87・6218



- 西湘高校
- ・石井天真さん
 - ・瀬戸隼平さん
 - ・武松大季さん
 - ・前田結海さん

LEDが照らすクリーンな未来

三菱ケミカルハイテクニカ 小田原テクノセンター



三菱ケミカルハイテクニカ(株) 小田原テクノセンター、その前身は1965年に水の豊かなこの地で操業を開始しました。現在は、コピー機の心臓部とも言える「感光体」、医療機関や空港の手荷物検査で活躍する「X線シンチレーター」、LED照明の主要部材である「蛍光体」を製造しています。中でも「蛍光体」は、ランプをはじめスマートフォン、テレビ等のバックライトとして幅広く使用されており、こうした現代社会に欠かせない製品の製造と普及促進をとおして、社会のエネルギー効率向上に寄与しています。他にも事業所では、照明のLED化、太陽光電池パネルの設置等、省エネルギーや地域の環境保全への取組を推進しています。

高校生の声

環境への取り組みや、先進技術が詰まった製品の説明を聞いた生徒たち。日頃は見るできない現場を興味深く見学していました。

工場廃水を処理した水で、鯉を育てていた。本当に水がきれいになっていることが分かりました

製品だけでなく、工場内の安全や環境への取組にも力を入れていると感じました。



事業所データ：三菱ケミカルハイテクニカ株式会社小田原テクノセンター
 総従業員数：約400人
 所在地：小田原市成田1060
 問い合わせ：☎0465・36・1111

共に考え 行動する!

おだわらSDGs パートナー

SDGsの達成に向けて共に歩む、地域の92企業・団体を「おだわらSDGsパートナー」として登録しています。
その取組の一部を紹介します ※2020年3月現在



女性の自立を支援 平等な社会実現へ

小田原短期大学

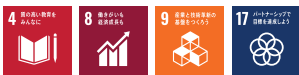


地域貢献への熱意を語る吉田学長(右)

ジェンダー平等の実現を目指し、60年以上にわたり、女性の自立を支え続けている小田原短期大学。巣立った多くの卒業生が栄養士、保育士、幼稚園教諭として西湘地域を中心に全国で活躍しています。

地域貢献活動にも積極的で、年6回の幼児教室「おだたんくらぶ」、幼児向け環境教育「もったいない活動」など、ユニークな取り組みが豊富。学長は「すべての人に質の高い教育を提供し、これからも女性リーダーの育成に励みます」と話しています。

学校データ:小田原短期大学 ※通信課程は男女共学です
教職員数:約120人
所在地:小田原市城山4-5-1
問い合わせ:☎0465・22・0285



SDGsの達成目指す企業をサポート

柏原総合環境会計事務所



県内の大学でISO品質/環境を教えている柏原さん

税理士だけでなく、ESG(環境・社会・ガバナンス)/SDGsコンサルタントとして、東京、横浜など首都圏を中心に多数の企業をサポートしている柏原岳人さん。ESG経営などの専門知識を生かし、SDGsの達成に貢献し得る企業体質への転換を支えています。

2006年に都内で開設した事務所を、2017年に小田原市へ移設。「小田原は空気も交通アクセスも良く、可能性のある街。今後はSDGsに取り組む地元企業のサポートにも力を入れていきたい」と意欲を語りました。

企業データ: 柏原総合環境会計事務所(税理士: 柏原岳人)
 総従業員数: 1人
 所在地: 小田原市寿町5-20-21-2
 問い合わせ: ✉ksea_takehito@kashihara.biz



ダイバーシティ雇用が生む助け合い精神

川田製作所



明るく穏やかな雰囲気が漂う職場

多様な人間がともに働くダイバーシティ雇用に取り組み30年以上。従業員約20人のうち障がい者と外国人が4割を占めるほか、高齢者や女性の雇用にも積極的です。「さまざまな社員が一緒に働くことで、互いを思いやり、助け合う企業風土にもつながっている」と川田俊介社長。精密プレス加工による部品製造には、ロボットや3D-CAD等の新技術を採用し、モノづくりの革新を目指しています。

企業データ: 有限会社川田製作所
 総従業員数: 20人
 所在地: 小田原市中新田294-1
 問い合わせ: ☎0465・48・8696



金融を通じた環境保全 さがみ信用金庫



太陽光パネルを設置し、屋上緑化にも取り組む

約1世紀にわたり地域に親しまれる金融機関。SDGsの精神にも通じる「地域社会との共生」「豊かさへの貢献」を企業理念に掲げ、環境問題対策にも積極的に取り組んでいます。その一つが20年以上続く海岸清掃。夏の早朝に行われる恒例行事で、職員の家族や協力企業もあわせて約500人が参加します。このほか、一部店舗には太陽光パネルを設置。環境保全に取り組む企業を支援する金融商品も取り扱っています。

企業データ:さがみ信用金庫
 総従業員数:616人(令和2年1月31日現在、役員・非常勤役員など含む)
 所在地:小田原市浜町1-4-28
 問い合わせ:☎0465・24・3161



高齢者の生活を見守る 潤生園



独居高齢者に食事を届けるスタッフ

高齢者福祉施設を運営する立場から、独居老人宅への配食や高齢者の福祉運送、介護相談などの支援サービスを展開。施設内にも、住民が自由に利用できるスペースや憩いの場となる「足湯」を設置し、地域高齢者が健康的でいきいきと生活を送れるよう様々な取組を進めています。また神奈川県社協ライフサポート事業に参画、生活困窮者の相談窓口を開設し、貧困等の複合的な生活課題を解決するための支援にも取り組んでいます。

企業データ:社会福祉法人小田原福祉会 高齢者総合福祉施設 潤生園
 従業員数:570人(アルバイト含む)
 所在地:小田原市穴部377
 問い合わせ:☎0465・34・6001



エネルギーの地産地消へ 湘南電力



市立曽我小学校での出張事業の様子

湘南電力は、地域で発電された再生可能エネルギーを優先的に供給しています。市や町と連携して公共施設の省エネを推進したり、出張授業で子どもたちに環境とエネルギーを学んでもらったり。電気料金の一部で市民活動をサポートする「地域応援プラン」もあります。

「エネルギーの地産地消」から広がる、より自立した循環的な地域社会への歩みは始まったばかりです。

企業データ：湘南電力株式会社
 総従業員数：14人
 所在地：小田原市扇町1-30-13
 問い合わせ：☎0465・34・9105



豊かな森を次の世代に 竹広林業



無垢の一枚板など各種木材が並ぶ展示場

創業から120余年、変わらぬ想いは「地域と共に、木と共に」。「木の目利き」が選りすぐった各地の材木の展示・販売、木の住まいづくりを手掛けています。「豊かな森という宝物を、次の世代に引き継ぐことも私たちの責任」という同社。地域の森林林業・木材業の一員として、山林に苗木を植え、育て、木材として活用する資源循環への取組、森に入って子どもたちにその必要性を知ってもらう「木育」も進めています。

企業データ：竹広林業株式会社
 総従業員数：約15人
 所在地：小田原市寿町3-1-39
 問い合わせ：☎0465・34・6600



ママの力で暮らしを豊かに チルドリン 小田原



地域のママたちで活動を広げています

子育て中のママたちが楽しみ・学び・安心して過ごせる場をつくろうと活動している「チルドリン」。

全国組織の団体で、企業や大学と連携し、「森」を考える企画や、電力自由化を機に「エネルギー」を学ぶ場の提供などを行っています。小田原では「森里川海プロジェクト」との関わりや、「地産地消」など、家庭で出来る「賢い暮らし」を啓発。

『現状を知るコトから』を合言葉に、地域のママたちが協力して奔走中。

企業データ:NPO法人 チルドリン 小田原
 総従業員数:12人
 所在地:小田原市南町2-4-26
 問い合わせ:☎090・4536・6328(福田)



EVで被災地に電力を ごみ分別の徹底も 東京電力パワーグリッド 小田原支社



ごみの分別を呼び掛ける相内ゆか支社長

2019年9月、千葉県を中心に甚大な被害をもたらした台風15号。東京電力グループは停電が長期化していた被災地に、給電機能を持つ電気自動車(EV)を派遣し、電力確保に尽力しました。また同支社には今秋、EV充電装置を設置し、業務車両のEVへの入れ替えを計画中。脱炭素化を推進していきます。

さらに、2019年2月「かながわプラごみゼロ宣言」に賛同。現在、社内でのごみの分別を徹底し、環境を守る意識の向上に努めています。

企業データ:東京電力パワーグリッド(株)小田原支社
 総従業員数:約150人(同支社管轄の3事業所合計)
 所在地:小田原市本町1-9-25
 問い合わせ:☎0120・995・776(神奈川カスタマーセンター)



「心」と「身体」の休養を啓発 元気な社会へ 日本リカバリー協会



同協会代表理事で医学博士の片野秀樹さん

日本リカバリー協会は、「心」と「身体」の休養「リカバリー」についての啓発や健康関連産業の発展に寄与するために設立されました。疲労は「痛み」「発熱」と並び病気になる前の危険信号。2004年文科省「わが国の疲労の統計」によると就労者の56%が疲労を抱えています。同協会は「休むコト。」の発刊などを通じ、デジタル化された現代社会に合ったリカバリーを情報発信し、元気で活き活きとした社会づくりを目指しています。

企業データ：一般社団法人日本リカバリー協会
従業員数：2人
所在地：厚木市中町4-4-13浅岡ビル4F
問い合わせ：☎046・200・9373



有機農法で省エネもめざす はなまる農園



有機農法により味も濃厚

我が子の誕生を機に、オーナーの石井久喜さんが「安心なお野菜を食べさせたい」という親心で開いたはなまる農園。農業や化学肥料を一切使わない有機農法で、四季折々の野菜や果物を育てています。多少見た目が悪くても、旨味がギュッとつまった濃い味はオーガニックならではの。自然な環境下で育てるので生産量こそ多くありませんが、無駄なエネルギーの消費や農産物の3分の1が廃棄される現状を変えようと日々汗を流しています。

企業データ：はなまる農園
総従業員数：5人
所在地：小田原市中町1-4-21
問い合わせ：☎0465・43・9882



音声メッセージロボットで 子どものコミュニケーションをサポート Hamee



小さな子のみまもり機能も持つHamic BEAR

Hameeでは、スマホを持たない小さな子どものコミュニケーションサポートに取り組んでいます。その中で生まれたのが「Hamic BEAR (はみっくベア)」です。可愛いクマに話しかけるだけで、世代や距離を超え、ご家族やお友達と楽しく簡単に音声メッセージのやり取りができます。

また、売れずに倉庫で眠る商品を、必要とする買い手に販売するサービス「RUKAMO」をとおり、大量廃棄される商品の削減にも挑戦しています。

企業データ:Hamee株式会社
総従業員数:347人(2020年1月31日現在)
所在地:小田原市栄町2-12-10 Square O2
問い合わせ:☎0465・22・8064



クリーンエネルギーを供給 古川



スタッフと自社のLPガス充てん工場

ガスコンロ、暖房、風呂…生活の質の向上に寄与してきたLPガス。㈱古川は、その安定供給の一翼を担っています。

創業100年を超える歩みの中で、現在はLPガスのほか省エネ住宅・リフォーム、太陽光発電等の事業を展開しています。持続可能なまちづくりに向けて、かつての「エネルギーをたくさん使ってもらう(同社)」から、高効率機器の導入や再生可能エネルギーの普及等への取組を進めています。

企業データ:株式会社 古川
総従業員数:約75人
所在地:小田原市寿町1-2-32
問い合わせ:☎0465・34・9101



尊徳の教えで農業支援

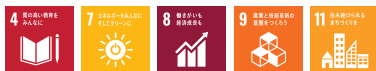
報徳仕法・報徳会館



地元産の柑橘類で小田原ブランドを構築

相互扶助の精神のもと、農村復興に尽力した二宮尊徳翁。農家を応援する同社の取組は、まさにその思想を現代に生かしたものです。たとえば、地元で栽培される柑橘の買い取り。年間を通じて安定した価格で流通させるのが目的で、地元商工業と連携してサイダーやドロップなどに加工することで地域活性化や「小田原ブランド」の構築も目指しています。このほか、耕作放棄地を開墾し、農地として再生する事業も行っています。

企業データ：報徳仕法株式会社・株式会社報徳会館
 総従業員数：30人
 所在地：小田原市城内8-10
 問い合わせ：☎0465・23・3246



地域経済の成長をサポート

横浜銀行小田原支店



試合会場で湘南ベルマーレの選手と共に

SDGsの推進に向け、神奈川県とも協定を締結している横浜銀行。小田原支店では、地元企業の事業承継や新たな起業・創業への支援を通じて地域経済の成長をサポートしています。

2019年はフリーグ・湘南ベルマーレとのコラボで「親子で学ぼう!お金の教室」を初実施。未来を担う子どもたちに、経済の基本を分かりやすく伝えました。

人に会い、声を聞き、現場を見る…持続可能なまちづくりへ貢献していきます。

企業データ：横浜銀行 小田原支店
 総従業員数：68人(キャリアメイト、シニアスタッフ含む)
 所在地：小田原市栄町2-7-36
 問い合わせ：☎0465・22・2131

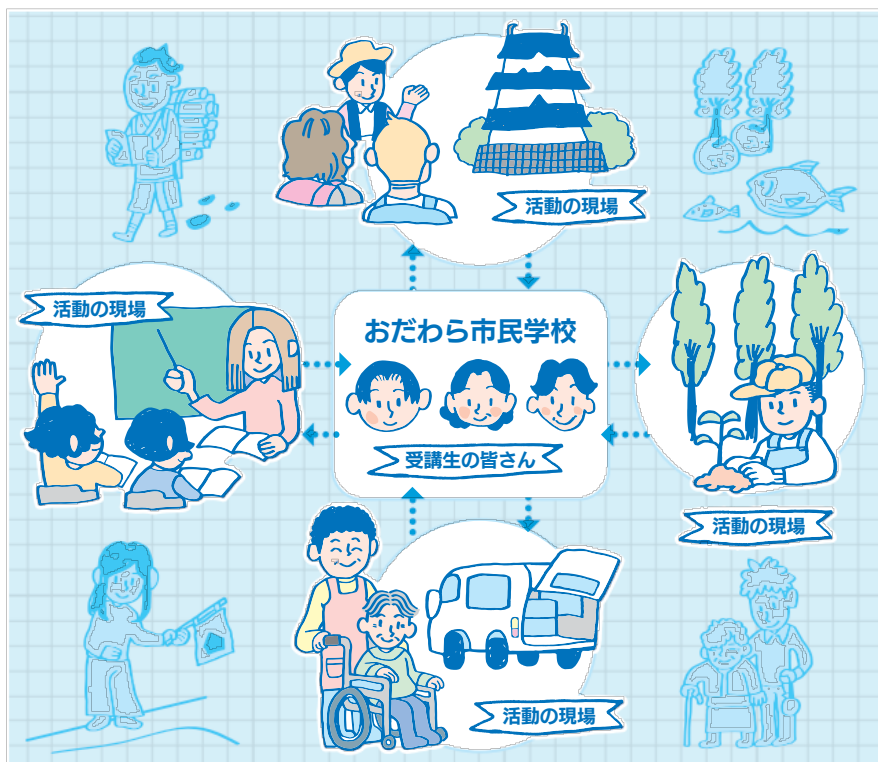


おだわら市民学校とは…

「持続可能な地域社会」の実現のためには、いろいろな世代や立場の人たちが手を携えて課題を乗り越えていくことが求められます。おだわら市民学校は、郷土を愛する皆さんと一緒に学び、実践へつなげる「人のチカラ」を育む学びの場です。



おだわら市民学校では、活動の現場で活躍している方を講師として迎え、実践活動を学びます。そして、学んだ人がそれぞれの分野で活動の実践につなげるという循環を継続することで、持続可能な地域社会の実現を目指していきます。





おだわら市民学校の仕組み

おだわら市民学校は2年制です

1年目の基礎課程では「郷土愛」を、2年目の専門課程では「実践につなげる課題解決を担いうるチカラ」を、教養過程では「より深い知識」を育みます。

1年目

基礎課程 おだわら学講座

～小田原の魅力を学び、郷土愛を育む～

入校1年目は、基礎課程「おだわら学講座」で学びます。2年目は「専門課程」や「教養課程」で学びます。

2年目

専門課程

～学びを深め、実践につなげる～

教養課程

～小田原の知識を深め、考える力を育む～

6分野

1. サポートの必要な人を支える
2. 子どもを見守り育てる
3. 自然を守り育てる
4. 地域の文化力を高める
5. 地域を元気にする
6. 地域の生産力を高める

2分野

1. 郷土の魅力を知り伝える
2. 二宮尊徳の教えを継承する



卒業したら

様々な分野における地域の現場での実践・活動



人づくり課題解決ゼミ

～人と人とのつながりから課題解決へ～

活動団体向けの学びの場

各分野ですでに活動している団体の皆さんを対象とした講座です。担い手や活動にかかわる課題の共有などを行います。

※募集は別途行います。

卒業生の声

50代・主婦



軽い気持ちで応募した基礎課程。活動を期待されても困ると思いきや、学んだ専門課程と共通講座。講義内容は多岐にわたり、どれも大変興味深いものばかりでした。その中で、学生時代に教わる機会がなかった地域コミュニティにおける市民の在るべき姿を学ぶ機会がありました。講師の「心地良いところで役に立てば良い」という言葉に背中を押されて現在ファミサポ支援員として活動することに喜びを感じています。まずは学ぶ楽しみを体感してください。お得感満載です！



基礎課程

「おだわら学講座」

第2回目 (2019年7月)

小田原市職員や地域活動に詳しい元大学教授から、様々な地域活動の特性やボランティア活動との違いなどを学びました。

専門課程

「郷土の魅力を知り伝える」

第11回目 (2019年11月)

北条氏ゆかりの史跡を巡る講座で、石垣山一夜城や早川石丁場の現場を視察しました。



専門課程

「自然を守り育てる」

第10回目 (2019年12月)

「小田原の自然に触れる」をテーマに、耕作放棄地を活用したみかん栽培の取組を学び、収穫も体験しました。

卒業生の声

40代・会社員

小田原への移住がちょうど定住になり始めた頃、本学の開校を知りました。この地についてより知りたい位の感じで受講を開始、回を重ねるにつれ、この地の更なる魅力を知ると併せて、足下の諸問題や今後の課題も知るところとなり、また各々の分野で精力的に活動されている方々との出会いや現場実習を通じて自身は何が出来るのか、そして何をやりたいのかを自ずと考えるようになっていました。そして今、卒業を迎えるにあたり、本学を通じて出会ったメンバーたちと具体的な一歩を踏み出そうとしている自分があります。



- | | |
|--------------------------------|---------------------------------|
| 1 株式会社アークル | 47 西湘ガス産業株式会社 |
| 2 NPO法人アール・ド・ヴィーヴル | 48 西湘日本中国友好協会 |
| 3 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 小田原支社 | 49 西湘ビルメンテナンス協同組合 |
| 4 愛の家グループホーム(小田原前川・小田原久野) | 50 瀬戸建設株式会社 |
| 5 旭丘高等学校 | 51 株式会社せりざわたけし工務店 |
| 6 一般社団法人足柄茶ラボ | 52 相日防災株式会社 |
| 7 アソー熱工業株式会社 | 53 相洋高等学校 |
| 8 特定非営利活動法人WE21 ジャパンおだわら | 54 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 神奈川支店 小田原支社 |
| 9 株式会社ういろ | 55 株式会社 タイドフオワード ダイナシティデビジョン |
| 10 株式会社ANコーポレーション(洋食居酒屋ラ・パレルノ) | 56 大和リース株式会社 横浜支店 |
| 11 エコロジカルコミュニティあおいほし | 57 株式会社タウンニュース社 小田原支社 |
| 12 FM小田原株式会社 | 58 竹広林業株式会社 |
| 13 大塚製薬株式会社 横浜支店 | 59 多古公民館 運営委員会 |
| 14 オセアンケアワーク株式会社 ハーティオセアン小田原 | 60 NPO法人 チルドリン小田原 |
| 15 小田原ウイメンプラス | 61 株式会社T-FORESTRY |
| 16 株式会社小田原魚市場 | 62 株式会社デコリア |
| 17 小田原衛生グループ | 63 株式会社東海ビルメンテナンス |
| 18 小田原ガス株式会社 | 64 東京サラヤ株式会社南関東支店町田出張所 |
| 19 おだわら環境志民ネットワーク | 65 東京電力パワーグリッド株式会社小田原支社 |
| 20 株式会社小田原機器 | 66 中谷産業株式会社 |
| 21 小田原市漁業協同組合 | 67 有限会社西村モーターズ |
| 22 おだわらスマートシティプロジェクト | 68 日本新薬株式会社 小田原総合製剤工場 |
| 23 学校法人 三幸学園 小田原短期大学 | 69 一般社団法人 日本リカバリー協会 |
| 24 有限会社小田原保険サービス | 70 株式会社ハウスパートナー 森のイオン販売所 |
| 25 温暖化防止アクショングループ | 71 畠山環境技術士事務所 |
| 26 学生服リユースshop さくらや 小田原店 | 72 はなまる農園 |
| 27 柏原総合環境会計事務所 | 73 Hamee株式会社 |
| 28 加藤建設株式会社 | 74 株式会社日立システムズ |
| 29 かながわ西湘農業協同組合 | 75 富士ボトリング株式会社 |
| 30 有限会社川田製作所 | 76 株式会社古川 |
| 31 株式会社五神建設 | 77 ほうとくエネルギー株式会社 |
| 32 独立行政法人国立印刷局 小田原工場 | 78 報徳仕法株式会社・株式会社報徳会館 |
| 33 株式会社コバヤシ | 79 特定非営利活動法人報徳食品支援センター |
| 34 さがみ信用金庫 | 80 株式会社ポスト広告 |
| 35 株式会社JSフードシステム | 81 堀内ウッドクラフト |
| 36 シニアネットワークおだわら&あしがら | 82 NPO法人mama's hug |
| 37 下曽おせっ会 | 83 万葉倶楽部株式会社 |
| 38 社会福祉法人 小田原福祉会 高齢者総合福祉施設 潤生園 | 84 株式会社ミクニ 小田原事業所 |
| 39 城下町スポーツクラブ | 85 三井住友海上火災保険株式会社 |
| 40 株式会社湘南第一興商 小田原支店 | 86 三菱ケミカルハイテクニカ株式会社 小田原テクノセンター |
| 41 湘南電力株式会社 | 87 MeijiSeikaファルマ株式会社 小田原工場 |
| 42 株式会社神鋼環境ソリューション 酒匂川右岸扇町事業所 | 88 小田原市内郵便局(25局) |
| 43 株式会社神静民報社 | 89 株式会社横浜銀行 小田原支店 |
| 44 鈴木美帆税理士事務所 | 90 ライオン株式会社 小田原工場 |
| 45 鈴廣かまぼこ株式会社 | 91 わをん |
| 46 株式会社スポーツプラザ報徳 | 92 NPO法人 和の文化塾 |

みなさんとともに小田原のSDGsを推進していきます!



Think MIRAI

小田原から未来を考える



小田原市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



発行:おだわらSDGs実行委員会
2020年3月
TEL:0465-33-1253(小田原市企画政策課)
<https://sdgs-odawara.jp>

202003 3000

